電話 03(3202)0546

教団の教師と

宣教を共に

価 1部140円(本体133円〒共200円) 5,000円 3,500円 振替 00140-9-145275 そえて、お近くのキリスト教書店 へお申し込み下さい 教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18

日本キリスト教会館内

FAX03(3207)3918 発 行 人 内 藤 留 幸 編集主筆 竹 澤 知 代 志 印 刷 所 株式会社きかんし 澤知代志



1日目の夜の交わりの時間、新任教師による「日本伝道地図」

知夫教団総会副議長による 総幹事による講演がなされ 午後には「教団の取り組 および内藤留幸教団

わりの時間をもった。 る講演があり、夕食後、 第2日目午前は佐々木美 交 れの働きや取り組みの紹介 がていねいになされた。

成に共に励むために」では**、**

合同教会としての教団形 初日の山北議長の講演

の教師に関わる項目に記さ

33条、さらに教団式文

教務―教会・教区・教団の

団の今を学ぶ

まず1859年のプロテス

諸施設等に仕えると 全体教会である教団

> 教の重要性について触れら られた神の言葉としての説

使命について、 教憲第1条 れた。そして、教団存立の 各個教会や

秩序について述べた後、語

土台としての正典、信条、 関わり」では、教会形成の

として、教団が合同教会と られた。そして教団の課題 ること等について熱く語ら と、宣教と伝道、あるいは 略とその特色について述べ 0年の日本伝道の歩みの概 った事柄の二極化を克服す 社会的責任と信仰告白とい く聖礼典を執行すること、 正しく福音を宣べ伝え正し る教会」を形成するために タント宣教師来日以後15 **伝道する使命に徹する**と して、「まことにして一つな さらに、旧教派的背景の教 ら学ぶ教師像についても触 が語られた。その他聖書か 教会に仕える者であること とをもって全体教会と各個 あり、教憲・教規に従うと 師像や職務についても言及 学校、 て述べた後、教師は教団と い表された信仰の守り人で 師像として、信仰告白に言 しつつ、全体教会にある教 教区に所属し、 れるなど、内容豊かな講演 に仕えることが話された。

「教団の教師像」では、教 であった。 内藤総幹事による講演

み」として、 教団事務局 —運営委員長)、年金局(髙 放センター (東谷誠センタ (勝山健一郎幹事)、部落解 休憩をはさんで、「教会

ョンのプログラムは以下の

この度のオリエンテーシ

埋りである。

員長による開会礼拝の後、

橋豊年金局長)、出版局(有

年出版局長)のそれぞ

第1日目、松井睦教師委

川北宣久教団総会議長によ

演がなされた。 夜は分団の時間をもち、

各講演についての感想や、

て」と題して深町正信氏(青 山学院名誉院長)による講 リスト教社会事業をめぐっ ・キリスト教主義学校・キ それぞれが遣わされている とが活発に話し合われた。 場における働きの紹介や課 評である小島誠志氏(松山 題、喜びや悩みといったこ 日目はこの数年大変好

講話がなされた。その後、 番町教会牧師)による牧会

ムを終えた。 閉会礼拝をもってプログラ つ感想等を述べ、最後に鈴 全体のまとめとして、参加 木伸治教団総会書記による した新任教師全員が一言ず

顔と顔を合わせて、それぞれの働

て開催された。「教団の教師として宣教を共に担う」を主題とし、新任教師61名、関係者44名の計85名が参加

2009年度の新任教師オリエンテーションが、6月15日(月)~17日(水)、静岡県伊豆市の天城山荘に

新任教師57名が豊かな学びと交わり

きの場での恵みや労苦を分かち合う良き学びと交わりの3日間をもった。 した。各地に遣わされておよそ3ヶ月を経た新任の教師たちが共に集い、

は新任教師の宍戸ハンナ氏 の尹太悉氏が奉仕した。 が担当した。また奏楽は森 が、3日目の朝の礼拝は同 里信生教師委員と新任教師 じく新任教師の加藤俊英氏 なお、2日目の朝の礼拝

来た車とドアミラー同士が

しい激突音。猛スピードで

車をやり過ごしていた。激

より「主の体たる公同教会一歩みを紹介された後、 て」では、ご自分の信仰の キリスト教主義学校・キリ 至るまで幅広く語られた。 さらに、教師の果たすべき 団・教区・教会の担う役割、 スト教社会事業をめぐっ 務めとしての教務・事務に 深町氏による講演「教会・ 洗礼の 『伝道者』と呼ばれること

の権能(鍵の権能、 すること、宣教における教 権能、聖餐の権能)を行使

らに、ご自分の体験等を語 り、基督教学校教育同盟会 緯等について話された。さ CoC宣教協力協議会解散 力学校協議会発足に至る経 (2005年)後の宣教協 1年)に至る働き、さらに、 ト教学校教育同盟(197 と日本キリスト教社会事業 (1910年) からキリス 大きな励ましを覚える時と 時に大笑いをしながらも話 裸々に語られ、新任教師は 験から、説教や牧会につい べ、新任教師に対する励ま ての苦労や失敗談などが赤 しの言葉をもって講演を終 を誇りとしてほしい」と述 に聞き入り、豊かな慰めと 小島氏による牧会講話 牧師としての豊富な経



?

立ち往生し た。ギリギリ に寄せ、対向

に入り込み、 シュ時に隘路 ▼昔々、ラッ

男が、いきなり「バカヤロ 止まった。▼車から降りた み、畝をクッションにして ぶつかった。大きくハンド ルを切った対向車は、数十 メートル先の畑地に突っ込 -」と叫ぶ。当然、穏やか

ご近所の人々が、様子を聞 謝罪して欲しいと迫る。▼ り、「バカヤロー」だけは 主張すると、「誰もがそう思 ていた、一方的な事故だと あ事故はお互いの責任、被 調停する。彼の結論。「ま 察官が呼ばれた。彼は笑顔 な話し合いにはならず、警 うんですよ」ニコニコ。そ 害も軽微ですから」。停車し で当事者二人の話を聞き、 んなことはないと言い張

出会い と交わ

の神学校出身者、およびい たちが再会を喜び合う時で わりの恵みを味わう機会で もあるが、それ以上に、他 は、同じ神学校出身の教師 わゆるCコース受験の教師 たちとの新しい出会いと交 とのオリエンテーション 作り、日本の各地域におい 全員で「日本伝道地図」を されている地域に立って、 をし、さらに、各自が遣わ 手をしながら短く自己紹介 新任教師全員がお互いに握 目の夜の交わりの時間に、 その意味で、今回も1日

ていることを実感すること があった。 ができたことは大きな意義

れて時間を過ごしたこと 球を楽しむグループに分か 由時間が設けられ、近くの 滝を散策するグループ、卓 温泉に出かけるグループ、 また、2日目午後には自

流を深め合う良い機会とな その他、食事の際にはテ

ることができたことと思 みを覚え、その自覚を深め の教師として宣教を共に担 り合う光景が見られ、教団 うために立てられている恵 ブルごとになごやかに語

も、お互いを知り合い、交 緑に囲まれた会場におい一持って行くのは、過激だ。 事によらず中間辺りに落と そ話すのが聞こえる。警察 いるとんでもないやつだと 官まで相手に強情をはって いが、中庸が常に正しいと いう話になっている。▼何 きつけて出てきた。ひそひ は限らない。万事を中庸に し所を見ようとする人は多

りが、今後のそれぞれの働 オリエンテーションを終え つ、2009年の新任教師 されることを心から願いつ きの場において豊かに生か てもたれたこの学びと交わ (雲然俊美報)

続き、

澤信

情報発信という委員会の目的を確認 靖国•天皇制問題小委員会

2009年7月13日 天皇制問題小委員会が、 教会館4階会議室で開催 今期の委員には釜土達雄 第36回総会期第1回靖国 14日 (火)、 日本キリス 月 3. 検証する。 のように理解してきたかを 団成立時から今日までの 国・天皇制問題」を教会の 「教会と国家」の関係をど

1、2を踏まえて「靖

和也(宇和島中町教会)、 雄委員長による開会礼拝の 委員が選出された。釜土達 5名が選任された。 小委員 栗原清(武蔵豊岡教会)の 七條真明(高井戸教会)、 会書記には互選により沼田 (委員長・七尾教会)、芳 (真和志教会)、沼田 報告・協議が行われ とについては積極的に協力 員会の働きで協力できるこ 委員会を経て教団に提言、 課題と検証の成果を、社会 各個教会に発信する。 以上を、実際にどのよう ながら担う。 当委員会の担っている NCC靖国神社問題委 第3総会期第2回「能登

国・天皇制問題反対」を運 動として行うのではなく、 いがもたれた。 そして、当委員会は「靖

教

各個教会および信徒一人ひ

与する働きを目指す。 の日本基督教団の形成に寄

1の大前提のもとに教

くために委員会として協議 課題、信徒の課題としてい トロールとは何か」「靖国と 道とは何か」「マインドコン 冉建は前進

ついて、委員の間で話し合 発展的に継承するのかに た。 再建支援委員会(以下、委 に、教団会議室で開催され 員会という)が、6月29日 半島地震」被災教会会堂等

引き継がれた課題である

信仰告白共同体として

前総会期の小委員会から

前列左から、今泉(担当幹事)、釜土(委員長) 後、事務局より「能登半島 引き続き協力お願いのチラ 月に発行し、全国の諸教会・ 会会堂等再建支援募金への と「能登半島地震」被災教 伝道所に発送、配布したと 支援ニュース」第5号を4 シを各教区総会への出席の 前回委員会議事録承認

いることが報告された。 の内7000万円弱が再建 2100万円強であり、そ 告があり、募金状況は1億 6月)の募金状況、会計報 また、現在 (2009年 題の担当者それぞれからの

次に陪席された中部教区

挨拶や報告の時間をもっ

とりが、靖国神社や天皇制 の問題とどのように向き合 の材料となるような情報を い、神の御前にどのような あらためて確認された。 発信してゆくという目的が 判断を下すのか、そのため 今総会期については、「神 ている。 らかの小冊子にまとめ、発 対する入門的な学びを重 ようと計画している。「何 というテーマで学びを重ね 信してゆくことを目標とし ね、最終的にはそれらを何 か」すなわち素朴な疑問に

は何か」「天皇制とは何か」 としても、また「わたしは に参加することができない 具体的なデモや署名運動

切に願う。

催される。

日 (月) ~17日 (火) に開 次回の委員会は、11月16

(沼田和也報)

委員会が用いられることを ための小さな助けとして本 のもとに行ってゆく。その イエス・キリストへの信仰 に考える」という決断を、 国・天皇制問題をこのよう 持っている」というような 意見が出ることも含め、そ とりの信徒が「わたしは靖 れぞれの教会、また一人ひ 小委員会とは異なる見解を らうとととした。 画及び資金計画を早急(次 いての状況が報告された。 の状況を確認した。次に七 出されたものについて、そ る支援献金会計の状況につ 回委員会まで)に出しても 及び幼稚園園舎の再建につ 羽咋教会の新会堂建築につ いての報告があった。 尾教会について牧師館は既 いての基本構想、計画案が 協議の結果、詳細な再建計 に再建されているが教会堂 以後、協議に入り、まず

第2回「能登半島地震」被災教会会堂等再建支援委員会 更に募金の推進を | 謝とお願いの挨拶をし、「感 夏頃に作成し、全国書教会・ 再確認した。そのために再 が、当初目標の1億500 o 万円に向けて 更に努力し のところ少々頭打ちである **度募金お願いのポスターを** ていくことが必要であると 次に募金について、ここ

出会う旅だ。その詳細は

規模も様々である。 ビデ

を張ってやれ!」と檄を

飛ばされる場面もあり、

励まされもした。

四国教区を挙げての協

各地でのお心のこも

その「熱と光」に大いに

さんに配布したとの報告が 拶文を教区総会議員のみな 続いて高橋潤中部教区議 月9日(の予定。 お願いすることにした。 次回、第3回委員会は10 教団会議室で開催

(津村正敏報

出かけて、全国募金への感

一長より中部教区で扱ってい

説明された。また、受諾の の会堂等の様子を写真集で り現在の再建状況、再建中

あった。

あった11教区の教区総会に

能登半島地震被災教会再建

委員会の小宮山剛委員長よ

謝のご報告とお願い」の挨

伝道所に発送、配布して、

国キャラバンの完走に感謝

第2回部落解放センター運営委員会

第3総会期第2回部落解

た。

との報告があった。 みなさんに向けて配布した された。委員会の中で、日 月30日午後から7月1日に 者をあわせて32名。活動委 放センター運営委員会が6 本基督教団全国同宗連事務 員長として谷本一廣が承認 開催された。出席者は陪席 かけて、 教団 4 階会議室で

靖国•天皇制問題小委員会 後列左から芳澤、沼田(書記)、七條、栗原、草深(担当職員)

> 度活動献金は611万円余 り組むことが確認された。 りが献げられたことが感謝 話し合われた。2008年 予算及び活動献金について 度も700万円を目標に取 をもって報告された。今年 会計監査報告の後、決算、 完走。各地で多くの出会い 討することとなった。 実施については継続して検 作成が承認された。今後の 告された。また、報告集の がキャラバン参加者から報 び掛けることが出来たこと 解放運動への取り組みを呼 と交わりが与えられ、部落

> > 差別は存在しない、

国教区の協力によって無事 れた四国キャラバンが、四 東京で開催することとなっ は、来年6月7日~9日に 第11回部落解放全国会議

落解放センターの新しい規

う捉えているのかと問われ ト伝道150年についてど

筆することとなった。

ンター運営委員会書記)

ンターは日本プロテスタン

兵庫教区総会の席上、

常任運営委員会から、部

京教区、

部落解放センター

た。現在、東京教区、

西東

約案が提案され検討した。

次回に継続となった。

で実行委員会を立ち上げ、

が…」「四国の地に熱と光 らの文字を眺めながら部 を」。ポスターに踊るそれ 落解放四国キャラバン2 09を振り返ってい 6月、四国に解放の風

がれてはいるが、一方部 れの地で多様な営みが紡 落差別をはじめ「教会に の課題に向き合いそれぞ 四国一周のキャラバンを の10日間、四国教区の全 放センターは隊員4名で 面協力のもと教団部落解 行った。全国で部落解放 6月13日から22日まで 満ちたものであった。

教会 特別礼拝も担当させたい 学校で部落解放に関わる て計8教会をお訪ねし 度の主日礼拝には分散し ただいたことを感謝して た。またキリスト教主義 会館で集会を開催し、二 期間中4箇所の教会や 各地での集会は内容も

、思わされた。

の課題ではない」という 会で2500名の人々と 日本全国を8日間に亘り センターは全国キャラバ が今回の四国教区だ。 定しているその第1回目 教区単位で隔年開催を予 受けて実現した。今後も ンできないか…との声を 題を訴えながらキャラバ 全国会議と交互にこの課 で、隔年開催の部落解放 声はいまだ根強い。そこ 00キロに及び600教 周、全行程は1万20 を実施した。文字通り 1992年、部落解放

れている。四国キャラバ 祈りは確実に継承され、 を大切にするセンターの 行って人と出会うこと」 ャラバン同様「出かけて は及ばないが17年前のキ 基督教団出版局)に残さ 濃密な出会いと励ましに 『走れキャラバン』(日本 んは期間も行程もそれに 半では参加者と心を開い オを用いた学習会、ライ 問が投げられたり、証言 会や食事会でも素朴な疑 えられた。礼拝後の茶話 つつ行われ、各集会の後 拝担当など4名のキャラ ノ&トークのコンサー に語り合うひとときが与 ながらの証言、主日礼 ン隊員が個性を発揮し パワーポイントを示

根付いている。

遍路さんを迎える優しさ ったおもてなし……。お

に満ちた風土は教会にも

語り出したりと、まさに れた出会いなのだ、と深 田かけたからこそ与えら に呼応しご自分の体験を 行程の後半、解放運動 関わっていけるのか、が 場でもサークルでも「こ 然り。四国の各地で開催 いう現実がある。教会も った人々」とどのように い人がここに居ない」と の話を最も聞いて貰いた た集会に参加「しなか 課題をひとつだけ。職

示されている。 今後も大きな課題として (片岡謁也報)

してるんだからもっと胸 んたたちは大切なことを

に関わる方たちから「あ

ることとなった。 活動委員会と合同で開催す 10年1月25日~26日に、 次回の運営委員会は20

たことについて、多くの時 国通信』の次号に文章を執 間をとって意見の交換を行 った。出された意見を参考 にして、運営委員長が『全 (多田玲一・部落解放セ



三島真光教会でのライブ &ト

報

議室で、日本キリスト教社 7月17日(金)、教団小会 第2回世界宣教委員会が 長沢道子委員他、陪席者、 会事業同盟より推薦された

われた。

担当幹事、職員も加えて行

より、7月7日の常議委員 世委員の繰上げ当選が確定 会で原田謙委員の辞任にと きないことが報告された。 もない次点者である木下宣 したので、委員長を兼任で 冒頭で、内藤留幸総幹事

ランベルト&アンジェリー | どり (台北)、南吉衛 (独

界宣教委員が手分けして各 08年度報告書を読み、世 する内規」が承認されたこ 教委員会所属の各委員会の とのほか、派遣宣教師20 報告、「受け入れ宣教師に関 合(SEK)および韓国、 が宣教協約を結んでいるス K)·基督教大韓監理会(K 大韓イエス教長老会(PC イスプロテスタント教会連 MC) • 韓国基督教長老会 (PROK) と教団による

れていたが、このほどスイ

ス・韓国両協約委員会はこ

団は第3回を2010年に

日本で開催するよう要請さ

れまで2010年11月に開

について協議を行った。と

年に韓国で、第2回は06年

開き、第3回スイス・韓国

合同で教団会議室において

|名 (スイス10名、韓国15名、

KCCJ5名)、計約70名を

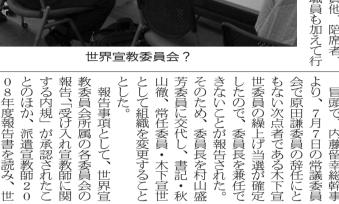
日本三国間協議会の開催

見込んでいる。

協議会の主題は、韓国で

にスイスで開催された。教

三国間協議会は第1回が2



日本基督教団(以下教団)

員会は開催前であったた 各委員会報告の後、 開催予定日が報告され A 社会が抱える様々な課題に 自殺に関すること等、現代 格差社会問題、裁判員制度、 死・臓器移植問題、貧困・ 死刑制度の是非、基地問題、

の社会委員会を開催するこ マ・イワクニフィールドワ 9日の2泊3日で、ヒロシ 発送できるように、記事内 いて学び、その後、第3回 会委員会通信を11月末には ークによって基地問題につ 容及び担当者を決定した。 いて確認をした。 第45号社 次回委員会は9月7日~

?

教団と韓国三教会の協約に めた。委員会はこの訪問を 三教会を訪問することを決

ざしている。

(石田周介報)

を牧会し、78年隠退した。

遺族は、息・大山恵さん。

今後の宣教協力の促進をめ 基づく交流と位置付けて、

第2回世界宣教委員会 画や神奈川教区で海員のた 子宣教師の任期終了後の計 地に遣わされている宣教師 めの宣教を続けてこられた に返書を送ること、木原葉 各宣教師の辞任、うすきみ

下道成(北米・サンノゼ)、森 の報告を承認した。 協議を重ねていることなど 休職について、派遣宣教会 の病気・手術に伴う療養、 (UMC)、神奈川教区とも 主な協議事項として、松 遣教団(RCA)に送り、 送金に関して、学校より派 ブラウネル宣教師への給与 たほか、ネイサン&のぞみ・ 宣教師の任期延長を承認し ・シュトゥットガルト)各

した。同種の問題が今後起 その事務を行うことを承認 再び本人に送ることにより いたので、教団が一括して 二重の送金費用がかかって た。

田喜基(北米・シカモア)

こることが予想され、Co

にして帰国報告をうかがっ 下道成宣教師から昼食を共 て、任期満了し帰国した松 またこの委員会におい (秋山徹報)

この種の業務を教団が担わ Cの働きを継続するために なければならない事態とな

っていることを実感させら

消

塚 本 信氏(東京池袋教会

牧師)

妻・塚本洋子さん。 を経て、8年から東京池袋 榴ヶ岡高校、金城学院中高 横手教会に赴任、東北学院 京神学大学大学院を卒業、 北海道に生まれる。99年東6月26日、逝去。44歳。 教会を牧会した。遺族は、

スイス・韓国との三国間協議会、来年7月東京で



解」、スイスでの第2回が 命の充溢に向けた癒しと和 の第1回が「すべての人の

7月6日、逝去。81歳。 東京都に生まれる。52年日 忍さん。 新島教会を牧会し、8年隠 年千葉通町教会に赴任、八 退した。遺族は、弟・牧野 田園調布教会を経て、77年 千代台教会、元浦河教会、 本聖書神学校を卒業後、'58

調講演、 フィールドワーク

とする。具体的な内容と基

盃

開かれ、委員が9月に韓国

同日、韓国協約委員会も

歳。岡山県に生まれる。'31 後、松山教会に赴任、京城 教会、宇和島教会、土佐教 年同志社大学神学部を卒業 会を経て49年から京都教会 (隠退教師) *ッ* 短 伊予小松 辞(主)吉澤 永 就(教)小田部実生子 辞(主)笹井健匡

人イス・韓国協約委員会

就(主)近藤野百合 辞(主)渡辺兵衛 就(主)田中馨子 辞(主)平松洋一 辞(主)田中馨子

農村伝道神学校 基督教児童福祉会 辞(兼主)渡辺兵衛 辞(教)後藤 聡 就(教)渡辺兵衛 就(主)平松洋一 //

宇部緑橋 辞(代)石川宣道 梅光女学院高校・中学校 山口信愛 就(代)鈴木恭子 辞(教)松隈 協 就(主)小畑太作 広島キリスト教社会館 広島女学院大学

富士宮 伊万里 辞(兼主)福永秀光 有田 " " 辞(担)末瀬喜美子 就(主)福永秀光 辞(主)笠間 辞(担)末瀬昌和 辞(主)福永秀光 就(教)澤村雅史 良

任担任教師)

藤田真佐子氏(勿来教会主 砧

富士見丘辞(兼担)東方敬信 木更津 池袋台湾 辞(担)飯島 大泉ベテル就(主)伊藤瑞男 " 辞(代)字野信二郎 辞(兼担)秋葉睦子 辞(担)深谷美歌子 就(主)楠原博行 辞(主)楠原博行 辞(主)深谷春男 就(主)大友英樹

笠岡教会を経て、00年か ら勿来教会を牧会した。 会に赴任、十文字平和教会、 大阪府に生まれる。72年日7月17日、逝去。72歳。 本聖書神学校を卒業、鳳教 六角橋 田園都筑 東京聖書学校 横須賀学院辞(教)土井直彦 // 就(教)磯部理一郎 辞(担)飯川雅孝 辞(担)出口光子 辞(主)中原真澄 辞(担)雲居玲子 就(担)飯川雅孝

松山城南高校 東京聖書学校吉川 " 就(兼担)深谷美歌子 就(兼主)深谷春男 辞(主)西海満希子 就(教)深谷美歌子 辞(神)大友英樹 就(教)辻村佳子 就(神)深谷春男

辞(教)小林千加良 辞(代)鈴木恭子 辞(教)斎藤仁作 就(主)上原芳子

辞(代)大島純男 就(担)平島禎子 辞(主)池田玲二 辞(主)潮 義男 就(主)吉澤 永 就(主)笹井健匡 辞(担)平島禎子 就(主)池田玲二 就(主)潮 義男 队(担)馬場詩織 一迷惑おかけしました。 ション、4人目安藤氏と記 びして訂正いたします。 81号、2面・写真キャプ 訂正・お詫び しましたが、鈴木氏にお詫 4 6 8 0

第2回社会委員会 日本キリスト教保育所同盟 第1回理事会について、担 教委員会、日本キリスト教 当委員から報告を受けた。 在会事業同盟総会·研修会、 受けた。 その後、 第1回宣 員より教務・業務報告を 第1回委員会議事録を書 続いて担当幹事及び担当

た。 援助を行っていくこととし

交代することが報告され 員は次回から原田史郎教師 社会事業同盟からの出席委 て、 Dに関する 講演を 聴いた。 達障がい」を主題に、釜土 会委員長会議の主題につい ガー症候群・ADHD・L 委員から自閉症・アスペル 2日目の協議は、全国社 協議終了後、「子どもの発 約1時間の協議を行っ

催された。 会期第2回社会委員会が開 6月2日~2日、第3総 め

教

寸

新

拝を行い、早速議事日程を 八川清委員による開会礼 原則的に自然災害に対する ら合意できることを考え、 を限定することについて異 ついて協議された。支援先 T経由での海外支援活動に 継続審議とした。 ついて語り合った。主題は

ぞれ第2回となる委員会を

| 35名)、パートナー教会各5

実行委員会を作り、両協約 等を早急に検討すること、

えて準備を進めることを決 委員の他に数名の委員を加 代表·関係委員会委員(約 は教団三役・総幹事・教区

会と韓国協約委員会はそれ

7月27日スイス協約委員

京で開催する方向で準備を 年7月2日から30日まで東 の三国間協議会を2010

Aアジア青少年センター に変更する。会場はYMC 催するために、日程を7月 が、教団の今総会期中に開 催する案が検討されてきた

たことを受けて、日本で開

「神の移住労働者」であっ

催する第3回は平和を主題

(東京・千代田区)。参加

進めることを決めた。

最後に、今後の活動につ

上森俊明報

教

て、アジアメソヂスト女性大会 (World Federation of

メダン市(スマトラ島)におい 4月14日~18日、インドネシア

現にそうしているように、励まし 句は「ですから、あなたがたは、 リアを砕いて命を建てる」。主題聖

主題は「アジア女性として~バ

Methodist and Uniting Church Women) が行われ

囲から参加者が集まっている大会

い」(Iテサロニケ5・11)。 広範 合い、お互いの向上に心がけなさ

に相応しく、幅広い報告や議論が

見られた。

インドネシア教会訪問記

アジアメソヂスト女性大会

2009.4.14~18 インドネシア・メダン市

で参加することとなった。 日本基督教団も準会員という立場 かけが成されているものである。

今回の大会は第9回東アジア大

とを目的とし、教派を超えた呼び

会が世界規模で交わりを深め、共

メソヂスト教会と合同している教

この会は、メソヂスト教会及び

に学び、祈り、主のために働くこ

徒や奉仕者を加えると400名近 表が訪れ、地元インドネシアの信 という実感を与えられた。 団の働きが世界へと繋がっている 木県)での実習経験者もおり、教 た。奉仕者の中にはアジア学院(栃 日本。開会のレセプションでは実 シア、香港、フィリピン、台湾、 国は韓国、シンガポール、マレー 行われ、10箇国から160人の代 会と第8回南アジア大会が合同で インド、スリランカ、ミャンマー に750名の参加者が一堂に会し 参加者が与えられた。主な参加

されるのは、イスラム国、ヒンド 反映されており、 ワークショップにもその傾向は

日本も決してこれらの問題と無

スト者共通の課題と言えるだろ 重要性が説かれ、家族伝道や家庭 げられた。クリスチャンホームの 問題」「健康問題(エイズ問題含 での祈りについての学びが重要視 む)」「信仰生活の問題」が取り上 ー国を多く抱えるアジアのキリ 分団では「家庭

道、家庭礼拝をもっと大切にして関心という環境の中で家族間伝縁ではない。むしろ、無宗教、無 も良いのではないか、と思わされ

写真の説明? %未満であること 済的に豊かであっ 会に新たな祈りの スチャン人口が1 で、日本からは「経 での伝道が進むよ 課題として「日本 が報告され、この ても、本質的に貧 しい日本」のクリ この大会の中

うに」を与えると

ととなった。

の関わりが深いことを感じさせら 成などにも関わっているなど、ア された。インドでは「父親に望ま 厳を取り戻すことの大切さが報告 ップ制度により女性が社会に出る 状を知らされると共に、スカラシ けることが困難であるアジアの現 理由により、女性が高等教育を受 が主催して行っているスカラシッ ジアの国々ではキリスト教と社会 売買)」問題を取り扱う弁護士の養 ぬ婚姻をさせられる未成年(人身 方法を与えられ、人間としての尊 プ制度の報告だった。貧困などの 特に印象的だったのが、この会

> ★新刊から 冒

http://www.bp.uccj.or.jp

出版局ニュース

もあれば、十数人という小規模の その礼拝では『日毎の糧』に従っ 役割を担っています。出版業務は れています。 ように熱心に主日礼拝をささげて 出版局を設け、キリスト教出版活 関と研究機関があり、それぞれの いることが伺え、励ましを与えら 教会もあります。けれども皆同じ 団には何百人もの会員のいる教会 から一教会を覚えて祈ります。教 て教団内の1700余の教会の中 日の業は朝拝から始まります。 教団の執行機関である事務局の 教団には事務局のもとに業務機

研究し、諸資料を保管しています。 設けられ、教団の宣教と教会形成 室は大阪にある)部落解放問題と 取り組んでいます。 に関する基本的 研究機関とし 実際的諸問題を

する業務を担当 金業務は年金局を設置して、主と 動を通して宣教の一翼を担い、年 して教師の謝恩金や退職年金に関 に部落解放センターを置いて(分 しています。さら

この他「教団新報」など、

総幹事の 切なる願い

ては宣教研究所が るという地道な働きをしているの

常勤の幹事・職員などを合わせる る常勤の総幹事・幹事・職員と非 の働きもあります。 会の決定事項をうけとめて執行す 教団の宣教活動が順調に進められ 総会・常議員会をはじめ、各委員 ていくために決議機関である教団 こ約50名になります。この人達が これら教団内諸機関で働いてい

務局の働きを覚えて祈って下さい。 教団の諸教会の皆様、どうか事 (教団総幹事)内藤留幸)

る中、英語だけは誰にも負けな 執る。順風満帆の人生だと思っ た。自分の力を頼りにひたすら 先生のもとで学ぶこととなっ とが縁となって早稲田の五十嵐 びたびハガキで質問していたこ 組「百万人の英語」を聞き、た ように見え、父のようになりた のを見た時だった。父が英雄の 地の米兵が英語で会話している 洋品店を経営していた父と駐屯 いと思った。高2の時にその父 **瓼張り、卒業後は母校で教鞭を** いようにと頑張った。ラジオ番 英語との出会いは終戦直後、 イギリス留学中に長女が不登 店番などで勉強が遅れ 議の場から救急車で搬送され から「お嬢さんはとても疲れて

い」と教えられ、家族関係の修

ゆっくり関わらなければならな

復を考えるようになった。「誰に

界を感じ、1年後に受洗した。

家族の関係、学生との関係、

が抜けた。全てを委ねられる世

大丈夫」と涙があふれ、体の力

すぐに解決するものではない。

る。

死の影の谷を歩んでいても

なっている。 いる。家族の

このような問題は

人間関係も原因に

枕元に来て詩篇23篇を読んでく たという。その様な時、牧師が

れた。「神さまが休ませてくださ

妻が西片町教会の浦和家庭集会

に長女を伴った。東後氏も牧師

ベッドで精も根も尽きた気がし ような気持ちだったが、病院の 状態が続いた

。その様な中で、

ならない、と常に追われている

校になった。帰国後も日本の高 **仪に適応できず、心因性の抑鬱**

倒れた。腹腔内出血のため、会

という。早稲田のエクステンシ 根本が変えられたことの結果だ

ョンで学校カウンセリングにつ

いて学び、現在は不登校や引き

その矢先に今度は自分が病に

た。自分の力で頑張らなければ

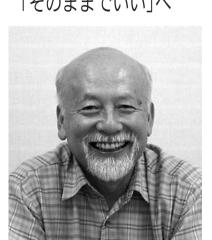
庭集会にも出るようになった。 いう牧師の言葉に励まされ、家 ったと思って対応しなさい」と でも起こりえる問題、事故にあ

> が、それは「自分は主のもので 生き方、様々なことが変わった

ある」という生き方を与えられ、

東後 勝明さん

「頑張らなくちゃ」から 「そのままでいい」へ



1938 年生まれ。浦和東教会員。 東京 YMCA インタナショナルスクール校長。早稲田大学名誉教授。